

ご支援ありがとうございます
久光製薬「ほっとハート倶楽部」の支援団体に選ばれました

久光製薬株式会社で行っている社会貢献活動「ほっとハート倶楽部」は、マッチングギフト制度の一つで趣旨に賛同した役員と従業員が会員となり、毎月積み立てをし、会社も同額を上乗せしたうえで、基金の資金とします。基金は国内外で活躍しているNPO法人や市民団体を支援するために使われます。

2007年に創業160周年記念事業として始まり、受賞した各団体に活動資金として10万円が寄贈されます。

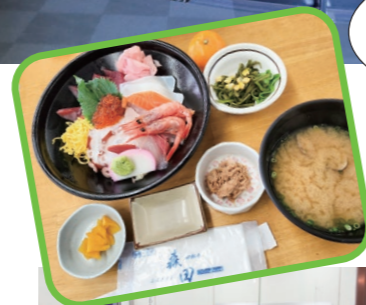
えどがわエコセンターの日ごろの活動を評価していただいた結果、今回の受賞となりました。



寄付金目録贈呈式
 久光製薬株式会社東京本社にて



会員向け日帰りバス研修会を実施しました



盛りだくさんに
 楽しみました♪



1月21日(土)、えどがわエコセンターの会員向け日帰りバス研修会を実施しました。見学先は、JAXA筑波宇宙センターとかねふくめんたいパーク大洗でした。

筑波宇宙センターでは、実物大の「はやぶさ2」や「きぼう」の他、見学ツアーにて「きぼう」管制室や宇宙飛行士養成エリア等の見学をしました。

その後、那珂湊の海鮮処森田で昼食をとり、かねふくめんたいパーク大洗に向かいました。工場見学では明太子の製造工程を学び、出来立ての明太子を購入することができました。

会員同士の親睦も深まり、充実した1日となりました。



寄付のお願い



皆さまからのご寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。

認定NPO法人 共育・協働の環境づくり

編集・発行 **えどがわエコセンター**

住所：〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階
 TEL：03-5659-1651 FAX：03-5659-1677
 E-mail：edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
 URL：https://edogawa-ecocenter.jp/
 Facebook：https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter
 開館時間：9:00～17:30 定休日：日曜・祝日



※機種によっては読み取りづらい場合があります



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.59

March 2023

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel (情報を送る) 2004年7月創刊

再生エネルギーの電力を使おう！
気候危機を救う、コーポレートPPA!



オフグリッドハウス「松江の家」(松江1丁目)
 令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰



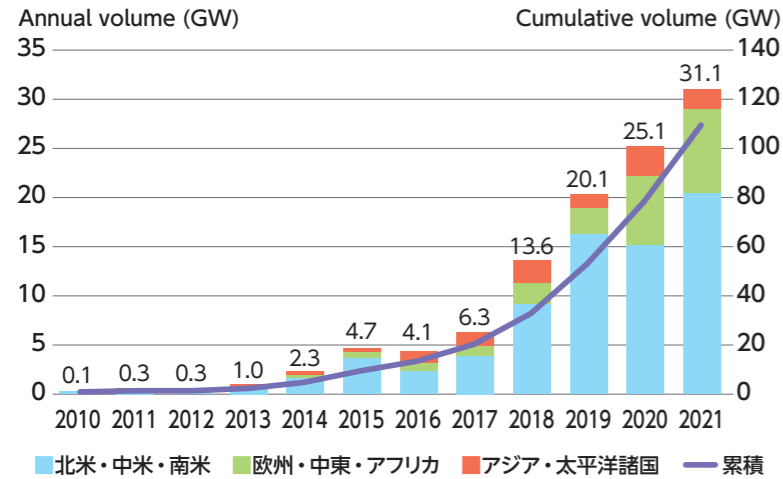
オフグリッドハウスとは、太陽光パネルと蓄電システムを備えた電気を自給自足できる家のことです。分電盤を通じて、家中のスイッチやコンセントから太陽光発電の電気を使っています。

(出典) NPO法人足温ネット



コーポレートPPAの契約は世界各国で増えています!

Global corporate PPA volumes, 2010-2021



Source: BloombergNEF. Note: Onsite PPAs excluded. APAC volume is an estimate. Pre-reform PPAs in Mexico and sleeved PPAs in Australia are excluded. Capacity is in MW DC. 単位: GW (ギガワット) (出典: BloombergNEF)

再エネ普及の切り札!



コーポレートPPAとは!!

企業と発電事業者の長期間の電力購入契約

初期投資不要で再エネ電力(主に太陽光発電)を導入可能

(Power Purchase Agreement = 電力購入契約)

企業が再エネ電力を調達する場合、最も簡単な方法は、自社費用で太陽光パネルを設置し、そこで発電した再エネ電力を使用することです(下図①)。しかし、それなりの規模の太陽光発電を導入するには、初期費用が大きくなります。こうした課題を解消するために生まれたのがコーポレートPPAです。

コーポレートPPAは、再エネ電力を導入する企業が、太陽光パネルを設置・所有する発電事業者などの第三者と、あらかじめ決めた料金で再エネ電力を長期契約するシステムです(下図②)。初期投資が不要のため、比較的大きな規模の太陽光発電の導入が可能となります。



コーポレートPPA導入のメリット

気候危機の回避に対応

自然エネルギーの利用率が高まると同時に、温室効果ガスの削減により、自然災害や異常気象などの気候危機回避に貢献します。



電力料金の削減

燃料費の価格変動に関わらず、長期定額契約によって、電力の調達コストを抑制できます。

競争力の維持・向上に貢献

世界的に、再エネを使うことが選ばれる企業の条件になってきており、気候危機への取り組みとしてアピールできます。

直接的

太陽光発電の導入方法

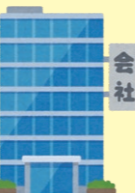
間接的

再エネ電源自給①

自前でパネル投資

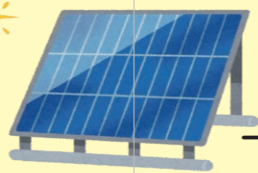


自社で所有



直接供給契約(PPA)②

コーポレートPPA



発電事業者が所有



電力会社の送電線使用

直接契約



グリーン電力メニュー

再エネ100%プラン

電力小売会社の再エネメニュー
(既存のプランを契約)



電力小売会社の再エネメニュー



コーポレートPPA導入のデメリット

発電量が不安定

天候による影響で、必要な発電量が不足することがあります。



価格変動で不利益の可能性

PPAの固定された契約価格に対して、卸電力市場の価格は変動するので、契約価格より安くなる可能性があります。

発電量低下のおそれ

発電設備に対する出力抑制の要請や、技術的な要因による発電能力が低下することがあります。

コーポレートPPAをテーマに第5回エコアクション講座を実施!

2022年12月17日(土)にタワーホール船堀研修室にて、第5回エコアクション講座「SDGs、RE100に貢献する電気の環境性と安定価格の両立を目指して～コーポレートPPAによる再エネ供給～」を開催しました。

講師には、株式会社UPDATER(旧:みんな電力株式会社)の事業本部本部長である三宅成也(みやけせいや)さんをお招きしました。

「再エネ拡大に向け何ができそうか考えることができた」「とても面白かった」とのご感想を多数いただきました。



三宅成也 講師



活発な質疑応答も行われました



講演内容



コーポレートPPAは、長期の買取契約をすることにより、再エネ電力調達が可能となる仕組みとして普及しています。

しかし、今年度の電力市場価格は、燃料費の高騰などによる高値水準が続いており、コーポレートPPAの新規契約にも悪影響を与えていて、再エネの普及拡大が危ぶまれる状況です。

大手電力のみが保有する燃料の長期契約を国が管理し、電力市場価格を正常化させることで電力供給も安定化させられれば対処できる、といったことなどをお話いただきました。



NPO法人足温ネットの皆さんと記念撮影